

# ぐるみ

環境にやさしく効果の高い活動を支援



…農業は、国民の命を育む産業です…

## Contents

- 優良メール ～活動だより～  
オーライ！ニッポン賞」受賞！！  
北小塩友人ピア環境保全推進協議会
- 第5回生き物調査研修会、第6回生き物調査研修会
- みやぎ農村環境保全シンポジウム
- 都市農村交流ツアー
- 農業水利施設簡易補修技術研修会
- 平成20年度 アンケート結果
- 行事開催予定

2008  
No. 3

優良活動事例

田園自然再生活動コンクール「オーライ！ニッポン賞」受賞！！

「北小塩友人ピア環境保全推進協議会」

去る平成21年1月16日(金)午後1時、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)において、農林水産省、社団法人 農村環境整備センター主催により「田園自然再生活動コンクール」が開催されました。

コンクールの趣旨は、農村地域において自然環境の保全・再生に取り組む優れた活動を表彰するもので、今年で6回目を迎え、本年度は全国から70件の応募があり、審査の結果7団体が選定されました。

農地・水の実践(活動)団体が全国で2団体、そのうち本県の「北小塩友人ピア環境保全推進協議会」が見事「オーライ！ニッポン賞」を受賞しました。

今回、受賞された7団体は、全て小中学生が関わっていることから、教育現場との連携した活動等が高く評価されました。



北小塩友人ピア環境保全推進協議会は、大崎市立田尻学区内の3小学校、4年生から6年生児童を対象に、大崎市教育委員会の後援のもと「北小塩友人ピアいきもの水路」や「冬みず田んぼ」での生き物調査、周辺の植物調査、バードウォッチング等を実施するなど「田んぼの学校」に力を入れるほか、県内の子供から大人までを対象にした「都市住民との交流会」では、田植え体験、餅つき体験、稲の生育観察、稲刈り体験等に加えて、「北小塩友人ピアいきもの水路」「冬みず田んぼ」における生き物調査やゲンジボタル、白鳥の観察等を開催するなど、学校教育関係及び行政機関等との連携を上手く図っている組織です。

農家のみならず、地域住民の種々の活動への前向きな協力は、最適な情報交換の場として世代間の交流が上手くいくようになり、特に女性にそのことが顕著にみえるようになってきました。

一般的に「女性の強い地域は、地域作りが上手くいっている」といいますが、北小塩は、まさにそれに当てはまる地域、集落ではないでしょうか。



会場においてPR資料展示

北小塩友人ピア環境保全推進協議会の皆さん  
大変おめでとうございます。

また、他の活動組織皆様も、農地・水の活動が  
今回のように表彰されるくらい注目されていること  
を再認識し、次回は自分の組織が表彰されるよう、  
集落・家族でもりあげていきましょう！

## 生き物調査

### 第5回生き物調査研修(渡り鳥の調査)

日時：平成20年11月26日(水曜日)

内容：生き物の種類や生態の理解、生き物の調査方法等を習得

場所：宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター

今回の研修では、講師を財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター主任研究員 嶋田 哲郎 氏に依頼し、活動組織、関係機関合わせて91名の参加により開催しました。

研修会は、室内での講義のあと、ほ場に移動し、白鳥やガンなど冬鳥の調査等を行いました。参加者は、鳥の数え方や鳥の行動等、調査方法の説明をメモに取りながら受講しました。



伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンターを会場に開催しました。



分かりやすく説明を行う嶋田氏



貸し切りバスでほ場に移動



羽を休める鳥や餌を食べる鳥などを観察しました。

### 第6回生き物調査研修(生き物マップ作成研修)

日時：平成21年2月17日(火曜日)

内容：生き物の種類や生態の理解、生き物の調査方法等を習得

場所：宮城県古川農業試験場

今回の研修では、講師をNPO法人田んぼ理事長 岩淵氏及び大崎市田尻総合支所 太田係長に依頼し、市関係者、活動組織合わせて66名の参加により開催しました。

研修会は、まず太田係長による「田尻地域における取組」について事例報告をいただき、続いて岩淵氏による「集落の生きもの・文化マップ作成のススメ」と題し、具体的な作成方法等について講義をいただきました。参加者は、作成方法等の説明をメモに取りながら受講しました。



古川試験場を会場に開催しました。



大崎市田尻総合支所太田係長より田尻地域における取組についての事例報告をしていただきました。



参加者はNPO法人田んぼ理事長岩淵氏による講義をメモを取りながら受講していました。

# 都市農村交流ツアー シンポジウム

## 都市農村交流ツアー

日時：平成20年11月5日（水曜日）  
 内容：県民と活動組織との交流を目的としたツアーを開催  
 場所：大崎市田尻蕪栗（旧迫川右岸地域環境保全推進協議会 伸萌区域）

地域協議会と宮城県では、県民と活動組織との交流を通じて本対策の県民理解の促進を図ることを目的に、都市農村交流ツアーを開催しました。

当日は、県庁を出発し、大崎市田尻の伸萌集落到着後、旧迫川右岸地域環境保全推進協議会伸萌区域の三浦孝一氏から、集落内を歩きながら集落の生い立ちや活動成果等について分かりやすく説明していただきました。

昼食後、場所を研修センターロマン館に移し、活動組織の女性が漬けた漬け物や暖かいお茶等のもてなしを受けながら、午前中に説明のあった集落活動等について意見交換をしました。その後、参加者の方々は隣接の農産物直売所に立ち寄って地域で生産された新鮮な野菜やお米等を購入しました。

今回のツアーに参加した方からは、もっと本対策を県民にPRすべきなど、多数の意見をいただきました。



青空の下、参加者は三浦さんのお話を熱心に聞いていました。



機場の2階から伸萌区域のほ場と蕪栗沼の渡り鳥を双眼鏡で観察しました。



農家レストラン「くらら」での昼食

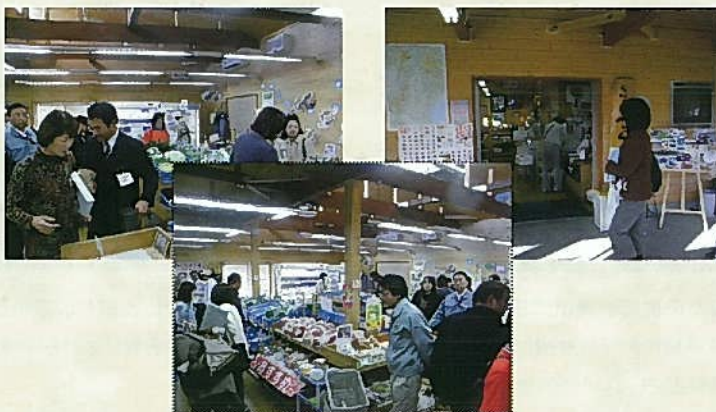


消費者と活動組織との意見交換会



地元の野菜を使った漬け物提供

産直で新鮮な野菜やお米のお買い物



参加者の皆様大変お疲れ様でした。  
 また、活動組織、市、改良区の皆様ご協力誠にありがとうございました。

## みやぎの農村環境保全シンポジウム

日時：平成21年1月17日（土曜日）  
内容：基調講演 俳優 永島敏行氏、パネルディスカッション  
場所：仙台国際センター（大ホール）

地域協議会与宮城県では、本対策の県民理解の促進を図ることを目的に、「みやぎの農村環境保全シンポジウム」を開催しました。

肌寒さを感じる中、一般参加者、活動組織、関係機関合計で約700余名の方々参加のもと、伊藤副知事の開会挨拶により開会しました。基調講演では俳優の永島敏行氏による「農」に対する思いや、「環境を守って、はじめて良い食料ができる、そのことを消費者にわかってもらう必要がある」「都市と農村を結びつけるプロデューサーの存在が重要」など貴重なお話をいただきました。

パネルディスカッションでは、活動組織を代表して、江戸沢環境保全協議会の佐藤氏（共同活動）及び枝野8区環境資源保全隊の石川氏（営農活動）による事例紹介、加美町立宮崎小学校の6年生畠山さんと関さんには、「田んぼに生き物がある環境をつくろう」を目的に実践したビオトープづくりなど環境学習の取組等を発表していただきました。また、有馬氏には先に開催した都市農村交流ツアーに参加し、消費者代表としてツアーの感想等を発表していただきました。

また、活動組織で作成した広報誌のパネルセッションも会場のロビーで行われ、組織同士の交流がはかられました。

会場にお越しの一般参加者の方々には、本対策に対して理解を深めていただくと共に、活動組織の皆様に対しては来年度作成する「体制整備構想(案)」の将来の展望を考えるうえで参考になるシンポジウムとなりました。



約700名の参加でシンポジウムが開催されました。



俳優 永島敏行氏による基調講演



コーディネーター

永島氏



パネラー



永島氏を交えてのパネルディスカッション



「農」に対する思いや、「環境を守って、はじめて良い食料ができる、そのことを消費者にわかってもらう必要がある」「都市と農村を結びつけるプロデューサーの存在が重要」など貴重なお話をいただきました。

# 簡易補修研修会

## 農業水利施設簡易補修技術研修会

日時場所：平成20年12月16日(火)13:30から15:00(角田土地改良区)  
平成20年12月17日(水)13:30から15:00(名取土地改良区)  
平成21年2月19日(木)16:00から17:00(石巻合同庁舎)  
平成21年3月4日(水)10:00から11:30、13:30から15:00(大崎土地改良区)  
平成21年3月10日(火)10:00から11:30(迫川沿岸土地改良区)

内 容：簡易補修の適用範囲等を説明、水路の目地詰めの実習

今回の研修は、農地・水・環境保全向上対策を実施する活動組織が自ら水利施設を補修・補強等を行うことが可能な簡易補修等の技術習得することを目的に開催しました。

今回は宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会事務局が講師となり、今年度中に、大河原管内、仙台管内、石巻管内、大崎管内、登米管内の5会場で開催いたしました。

既に簡易補修を実施している組織の方、初めて資材を手にする方もいる中、室内で簡易補修の適用範囲等を説明した後、室外で実際に目地詰めの作業をしていただきました。

数班に分かれ近隣の他組織の方々と一緒に作業を行い、慣れた方が初心者の方に指導するなど組織同士の交流にもなり、盛会の内に無事終了しました。



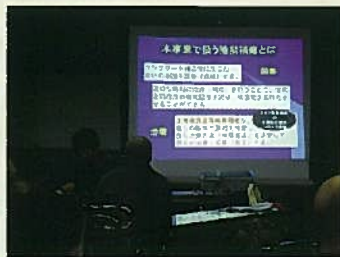
大河原管内(会場:角田土地改良区)



仙台管内(会場:名取土地改良区)



石巻管内(会場:石巻合同庁舎)



大崎管内(会場:大崎土地改良区)



登米管内(会場:迫川沿岸土地改良区)



多大なご協力を頂いた、角田土地改良区、名取土地改良区、北方土地改良区、大崎土地改良区、迫川沿岸土地改良区の職員の皆様大変ありがとうございました。

なお、栗原管内は平成21年6月頃開催予定です。

事務局一同

# アンケート結果

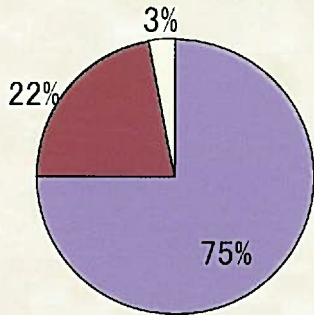
平成 20 年度もあとわずかとなってきました。

昨年度の1年間の活動を振り返り、これからの円滑な事業推進を行うためには、活動の状況や組織の状況等を色々な視点での意見要望を集約し、活動組織と本地域協議会の連携を深めることを目的にアンケートを実施しました。

お忙しい中ご協力ありがとうございました。

## (共同活動組織)

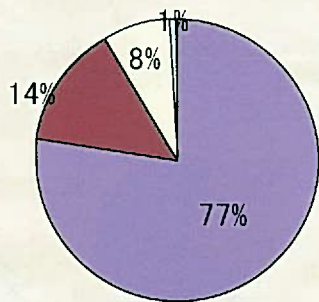
### ● 農村地域を守るには有効な施策か？



※ 「農地・水・環境保全向上対策は、農村地域の資源（水路、農道、ため池、地域の環境等）を守っていくのに有効な施策と思うか。

- 1 有効な施策
- 2 まあまあ有効
- 3 あまり有効でない

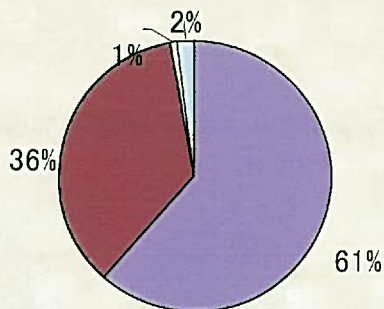
### ● 一緒に活動を行って



※ 農業者と農業者以外の人たちと一緒に共同活動を行ってどのように思ったか。

- 1 良いこと
- 2 難しい
- 3 農業者だけ
- 4 わからない

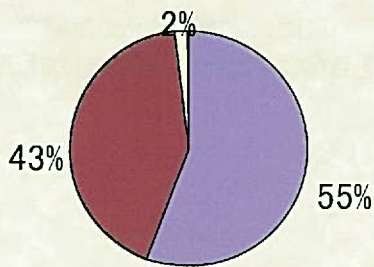
### ● 地域資源が保全されるか



※ 共同活動によりあなたの地域の資源（水路、農道など）が保全されると思うか。

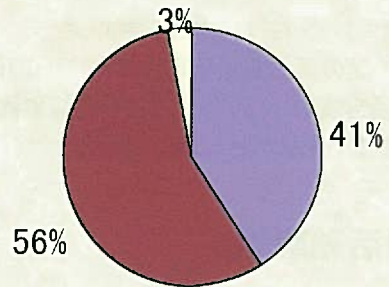
- 1 保全される
- 2 まあまあ
- 3 保全されない
- 4 わからない

●農地・水を実践してどうだったか



■ 1 良かった  
■ 2 まあまあ  
□ 3 やらない方が良かった

●家族の協力について

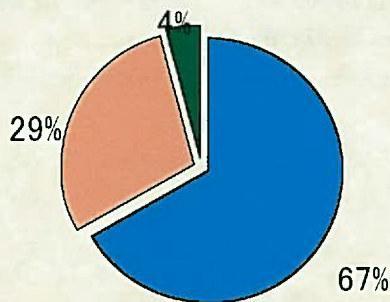


■ 1 積極的協力  
■ 2 まあまあ  
□ 3 協力得られない

全体参加人数 : 172,257人  
うち非農業者 : 43,260人  
うち女性 : 24,468人  
うち子供 : 9,880人  
(回答組織数 : 364組織)

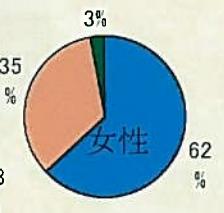
(農 家)

●農村地域を守るには有効な施策か？

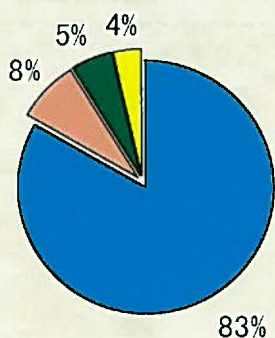


※「農地・水・環境保全向上対策は、農村地域の資源(水路農道、ため池、地域の環境等)を守っていくのに有効な施策と思うか。」

■ 1 有効な施策  
■ 2 まあまあ有効  
■ 3 あまり有効でない



●一緒に活動を行って



※ 農業者と農業者以外の人たちと一緒に共同活動を行ってどのように思ったか。

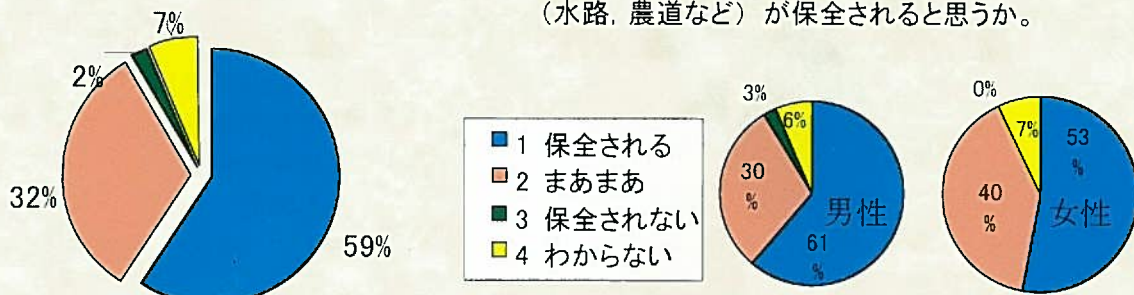
■ 1 良いこと  
■ 2 難しい  
■ 3 農業者だけ  
■ 4 わからない



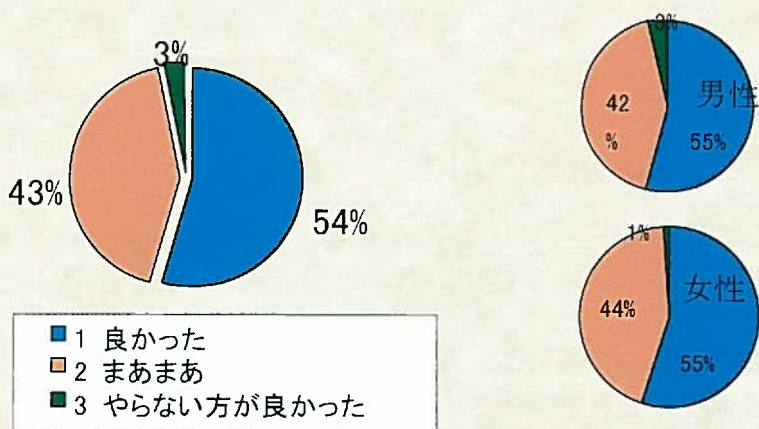


●地域資源が保全されるか

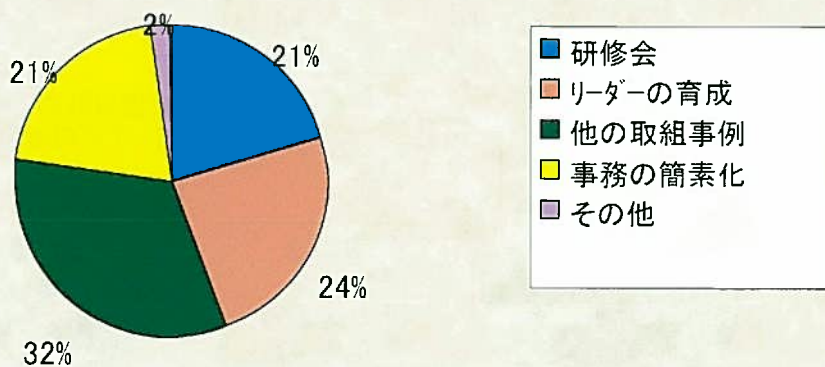
※ 共同活動によりあなたの地域の資源（水路、農道など）が保全されると思うか。



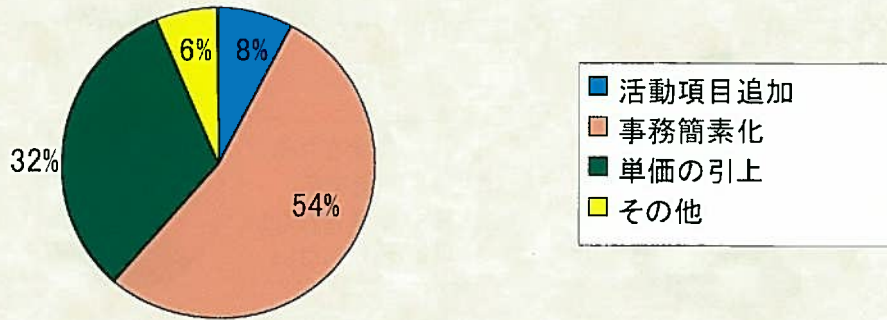
●農地・水を実践してどうだったか



●どのような支援があると良いか

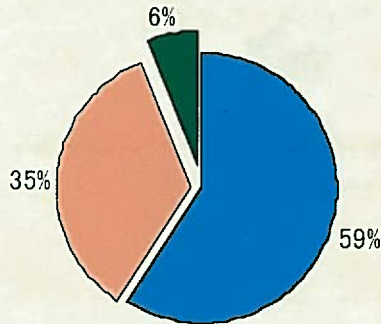


●意見要望等

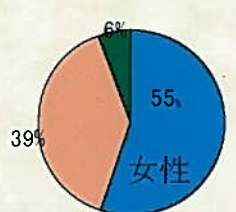
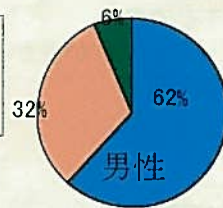
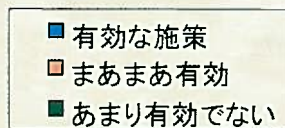


(非農家)

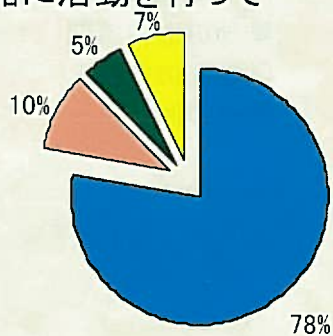
●農村地域を守るには有効な施設か？



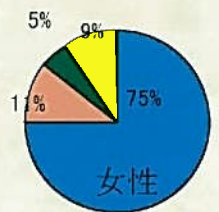
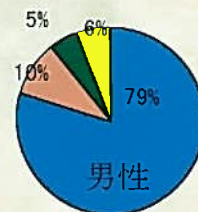
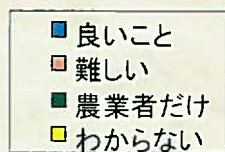
※「農地・水・環境保全向上対策は、農村地域の資源(水路、農道、ため池、地域の環境等)を守っていくのに有効な施策と思うか。」



●一緒に活動を行って

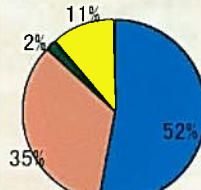
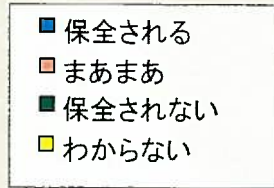
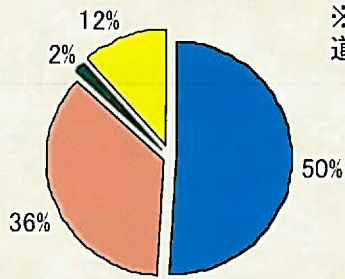


※ 農業者と農業者以外の人たちと一緒に共同活動を行ってどのように思ったか。

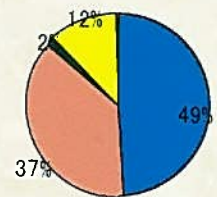


●地域資源が保全されるか

※ 共同活動によりあなたの地域の資源(水路, 農道など)が保全されると思うか。

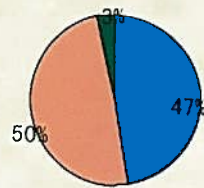
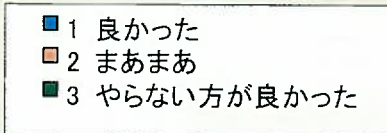
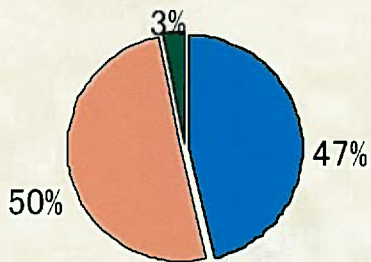


男性

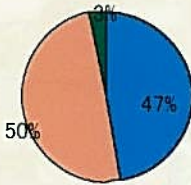


女性

●農地・水を実践してどうだったか

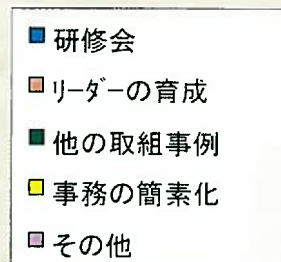
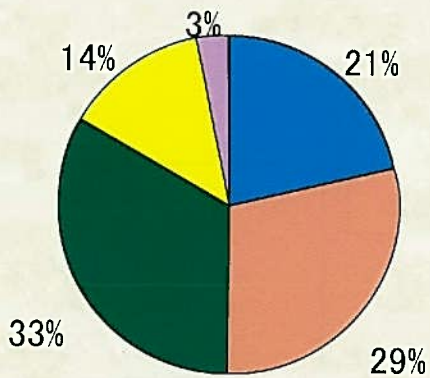


男性

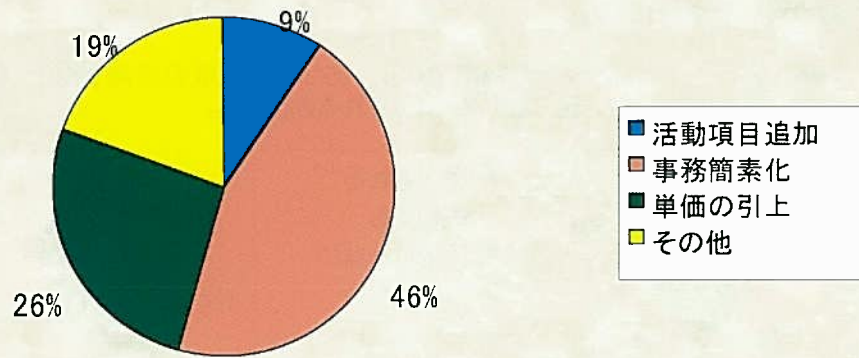


女性

●どのような支援があると良いか

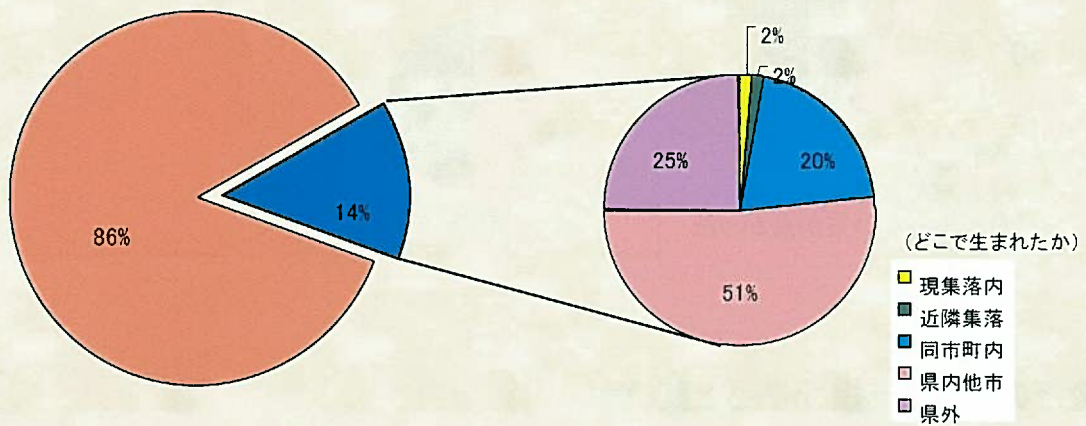


●意見要望等

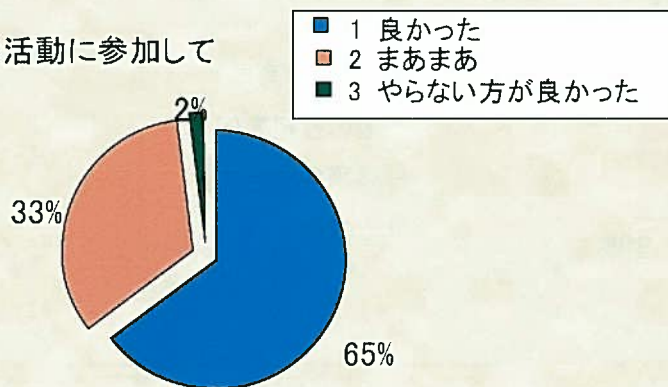


(小学生)

●現在住んでいるところで生まれたか。



●活動に参加して



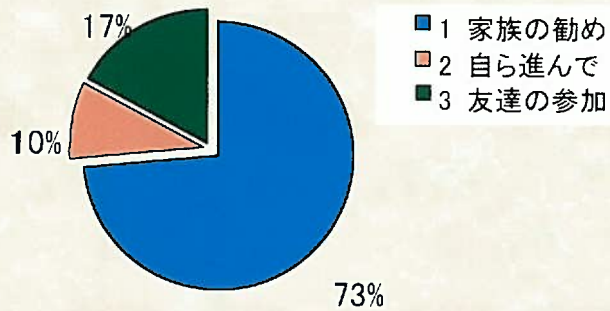
○良かった・まあまあ等の主な理由

- ・いろいろなことがわかった
- ・花をきれいに植えることができた
- ・生き物のことがたくさんわかった
- ・地域がきれいになった

○やらない方が良かった主な理由

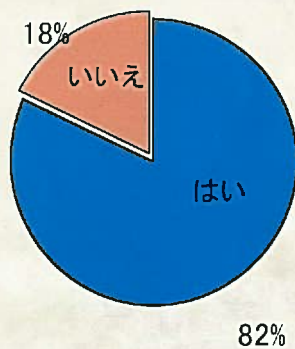
- ・めんどくさい
- ・虫がきらい
- ・友達と遊びたかった

●参加のきっかけ



○自ら進んでと友達に参加しているので参加した。という子供達が自分の意志で参加していることは、とても素晴らしいことです。今後とも多くの子供達が参加してくれることを期待します。

●大人になっても今の場所で暮らしたいか



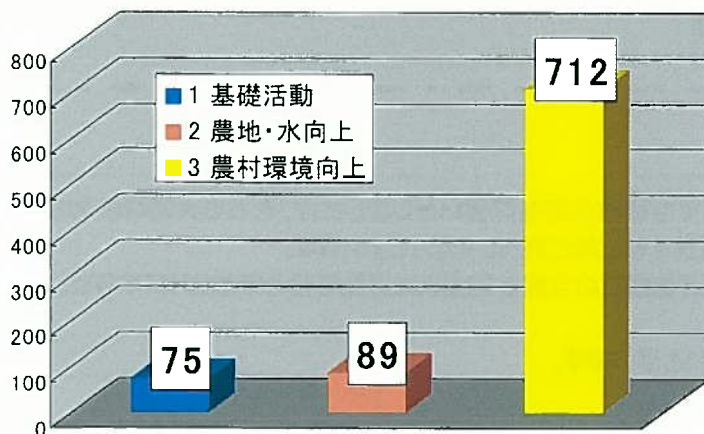
○今の場所で暮らしたい主な理由

- ・住みよい、緑が多い、きれい
- ・家族でくらしたい
- ・お米がおいしい
- ・長男なので

○別なところに行きたい主な理由

- ・コンビニがない
- ・プロ野球選手になる
- ・他の場所で社会を学びたい
- ・働く場所がない

●去年の活動への参加数(延べ回数)



○アンケート回答者数 467人  
うち本項目回答者 418人

○延べ総参加回数 876回

1人当たりの参加回数2.1回

子供たちの93%は農村環境向上活動に参加している

# 行事開催予定

21年度の子定

簡易補修技術研修 (栗原管内) 6月頃予定

県民交流ツアー 2回予定

生き物調査研修会 3回予定

生態系保全技術研修会 1回予定

水質保全技術研修会 1回予定

シンポジウム(仙台市内) 1月頃予定

宮城県 農地・水・環境保全向上対策地域協議会のホームページをご覧ください！

アドレスは <http://www.nmk-miyagi.org>

です。「宮城県 農地・水・環境保全」で検索していただいてもご覧になれます。



※研修会などの資料等もダウンロード  
できます。

## 編集後記

日頃大変ご苦勞様です。シンポジウムをはじめ様々な研修会等を開催いたしました。どれも大勢の参加があり、宮城の活動組織は活動意欲が高いと事務局一同感謝すると共に誇らしく思っております。

さて、来年度は、体制整備構想(案)の作成など、活動組織の今後を見据えた活動を行う年となりますので、これまで以上に活動組織が団結し取り組みましょう！

本協議会も皆様の活動をバックアップしていきたいと思っております。

【問い合わせ先】

宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会事務局

〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号

TEL:022-263-5829

FAX:022-263-5796

ホームページ : <http://www.nmk-miyagi.org>

e-mail : [info@nmk-miyagi.org](mailto:info@nmk-miyagi.org)